

津市風しん予防接種費用 助成申請の受付開始



平成25年6月21日

風しん予防接種費用助成申請の受付開始

平成25年6月24日から

風しん予防接種費用の助成申請の受付開始

対象①

妊娠を予定又は希望している女性、
妊婦の夫及び妊婦と同居する家族
(妊婦本人が風しん抗体陽性の場合は対象外)

対象②

妊婦と接する機会の多い職場の
市職員(保育士、保健師、看護師、
幼稚園教諭)

風しん予防接種費用助成の目的

今年に入り、全国的に患者が増加傾向...

- ▶ 全国…10,102人(平成25年6月9日現在)
- ▶ 三重県…62人、津市…9人(平成25年6月16日現在)

特に妊娠初期の妊婦が感染することによる
先天性風しん症候群の発症が危惧されている

- ▶ 早期の予防接種による感染予防
- ▶ 妊婦と接する機会の多い職場に勤務する市職員への予防接種を奨励し、感染予防を促進

風しん予防接種費用助成の概要①－1

▶ 妊娠を予定又は希望している女性、妊婦の夫
及び妊婦と同居する家族の場合

助成金額

予防接種費用の1/2を助成
(1人当たり上限5,000円)

県制度に基づき、
津市と三重県で
1/2ずつ負担

**！ 生活保護法による保護を受けている場合
は全額を助成 市負担…3/4、県負担…1/4**

予定人数 2,640人

関連予算 1,335万円(平成25年度当初予算枠内で対応)

風しん予防接種費用助成の概要①ー2

申請方法

予防接種後、市が指定する助成申請書に必要事項を記入・押印の上、必要書類を添付し、各保健センターへ提出

必要書類

- ▶ 接種費用の領収書原本
- ▶ 母子健康手帳など（対象が妊婦の夫及び同居する家族の場合）

助成対象 接種期間

平成25年6月1日～平成26年3月31日

申請期間

平成25年6月24日～平成26年3月31日

風しん予防接種費用助成の概要②

▶ 妊婦と接する機会の多い職場の市職員（保育士、保健師、看護師、幼稚園教諭）の場合

助成金額

予防接種費用の1/2を助成
（1人当たり上限5,000円）

市独自制度により
津市が全額負担

予定人数

165人（妊娠を予定又は希望している女性、妊婦の夫及び妊婦と同居する家族は県制度による助成対象のため除く）

関連予算

82万5,000円（平成25年度当初予算枠内で対応）

助成対象
接種期間

平成25年6月1日～平成26年3月31日

申請期間

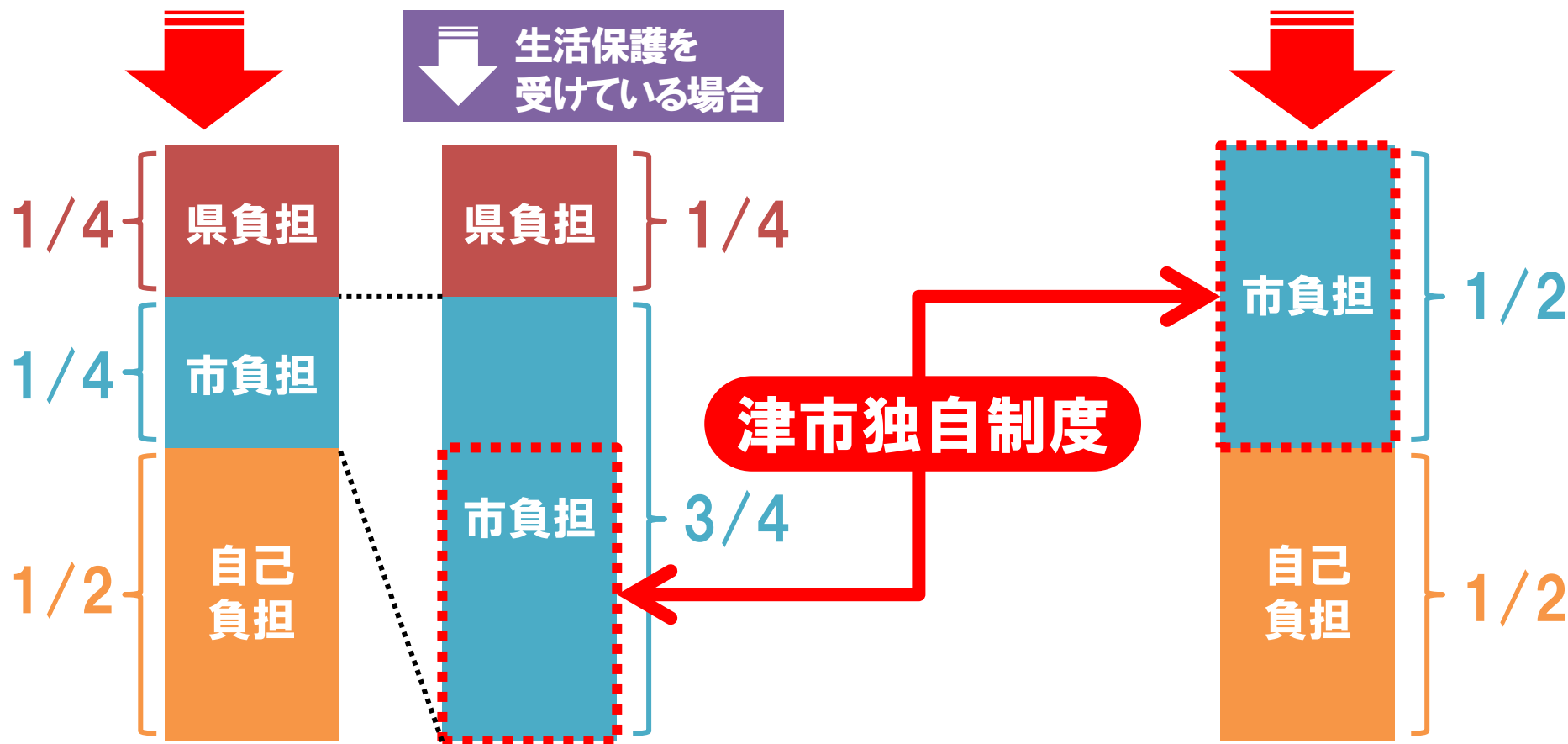
平成25年6月24日～平成26年3月31日

風しん予防接種費用負担イメージ

妊娠を予定又は希望している女性、妊婦の夫及び妊婦と同居する家族

妊婦と接する機会の多い職場の市職員(保育士、保健師、看護師、幼稚園教諭)

生活保護を受けている場合



津市生活・介護支援サポーター活動開始 ～新たな住民参加型サービスの担い手として～



平成25年6月21日

高齢者見守りサービスの受付開始

平成25年7月1日から申請受付開始

津市生活・介護支援サポーターによる 高齢者見守りサービス

申請先 各地域包括支援センター（市内9カ所）

利用料 無料（サポーターによる善意）

津市生活・介護支援サポーターとは

新たな住民参加型サービスの担い手として、
65歳以上の単身高齢者の皆さんへの見守り活動を行い、安心できる地域づくりに協力

根拠

厚生労働省が定める実施要綱

予算

624万円

（活動費112万円＋養成費512万円）

ロゴ入りの **オレンジ色のベスト** を着用し活動

津市生活・介護支援サポーターになるには

地域包括支援センターが実施するサポーター
養成講座を修了(全20時間のカリキュラム)



居住地区の地域包括支援センターに
サポーターとして登録
(平成25年6月12日現在 161人が登録済み)



登録後、各地域でサポーターとして活動

津市生活・介護支援サポーターの役割・活動内容

役割

みつ
ける

- ▶ 困っていること
- ▶ 課題

つた
える

- ▶ 情報提供
- ▶ 相談

ひろ
げる

- ▶ 支えあいの意識
- ▶ 住民参加

主な活動内容

日常

- ▶ 声掛け、あいさつ
- ▶ 生活しているかの確認

定期

- ▶ 訪問・安否確認
- ▶ 高齢者の集い等の開催支援

サポーターによるサービスを受けるには

▶▶ 65歳以上の単身高齢者など

① 地域包括支援センターへ利用申請

② 地域包括支援センター職員が自宅へ訪問し、サービス内容などを調整

③ 利用者登録

④ サポーターによるサービスを順次開始

津市生活・介護支援サポーターの仕組み



利用者

65歳以上の
単身高齢者など

声掛け・
安否確認等

相談

利用登録

利用申請

生活・介護支援
サポーター

情報提供

地域包括支援
センター(9カ所)

サポーター登録

地域のネットワーク



期待される効果

地域コミュニティの復活

地域連帯の意識高揚

自主的な見守り
体制づくりの促進

住み慣れた地域での
安心した生活

JR名松線の利活用を考える オープンディスカッションの開催

～乗った？乗りたい？乗ってみよう！名松線～



平成25年6月21日

オープンディスカッション開催の目的

平成28年春 に予定する
JR名松線全線運行再開後...



❗ どのように利用すべきか？

❗ 地域の活性化につなげるにはどうすればよいか？

自由に意見やアイデアをワイワイガヤガヤ、
楽しく、気軽にしゃべれる意見交換の場として

JR名松線の利活用を考える
オープンディスカッションを開催

オープンディスカッションの開催概要①

テーマ

乗った？ 乗りたい？ 乗ってみよう！ 名松線

日時
・
場所

第1回

7月30日(火) 13時～16時
八幡地域住民センター

第2回

9月28日(土) 時間未定
一志農村環境改善センター

第3回

11月30日(土) 時間未定
松阪市産業振興センター

- ▶ 市内・市外を問わず、どなたでも自由に参加可能
- ▶ 当日参加も可能

オープンディスカッションの開催概要②

コーディネーター

いずはら こうじ

伊豆原 浩二 氏（予定）

愛知工業大学工学部都市環境学科 客員 教授

進行方法

少人数のグループでテーマに沿って自由に発言できる ワールドカフェ方式 で進行

第1ラウンド

テーマを元に
意見交換

第2ラウンド

第1ラウンドの
情報を共有し、
さらに意見交換

席替え

第3ラウンド

第2ラウンドの
情報を共有し、
さらに意見交換

席替え

全体セッション

意見発表・
全体意見交換

オープンディスカッションに期待する効果



JR名松線の被災状況・現在の運行状況

被災状況

平成21年10月8日に襲来した台風第18号により、落石や土砂崩れが発生し、線路下へ土砂が流出

沢不安定箇所: 35カ所
沢以外の不安定箇所: 5カ所



運行状況



▶ 松阪駅～家城駅間…
鉄道による運行再開

▶ 家城駅～伊勢奥津駅間…
バスによる代行運転

JR名松線全線復旧に向けた取り組み

H22.1

JR東海へ津市自治会連合会による署名簿提出(署名116,268人)

H23.5

- 復旧に向け、JR東海、三重県、津市による三者協定を締結
- 三重県(治山事業)、津市(水路整備事業)による復旧事業を着手

H25.5

JR東海が鉄道施設復旧工事に着手

本年度

名松線利活用事業 オープンディスカッション

今後のJR名松線に関する取り組み

23年度
～
24年度

25年度

26年度

27年度

28年度～

JR名松線復旧事業

再開
全線
運行

オープン
ディスカッション

JR名松線利活用事業